

提案者(事業者)	株式会社 ジューテック
設計者	鹿島建設株式会社 一級建築士事務所
施工者	鹿島建設株式会社
建設地	東京都港区新橋 6 丁目 3 番 4 号

提案の  
概要



## A. プロジェクト全体の概要

- 住宅産業総合流通グループであるジューテックの本社ビル建設計画。

## B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 住宅建材リーディングカンパニーの本社ビル木造化による木造の魅力発信・普及牽引、良質な都市環境形成の先導。
  - ・ 木造の価値・企業理念の発信／木架構を見せる「コミュニケーションハブ」
  - ・ 多数の来館者の体感・社会への普及／「多目的ホール+屋上庭園」

## C. 提案のアピールポイント

- 純木質耐火集成材「FRウッド」初の多層型建築物への採用。
- 耐火性能検証による耐火被覆層の合理化。



正面外観

評価の  
ポイント



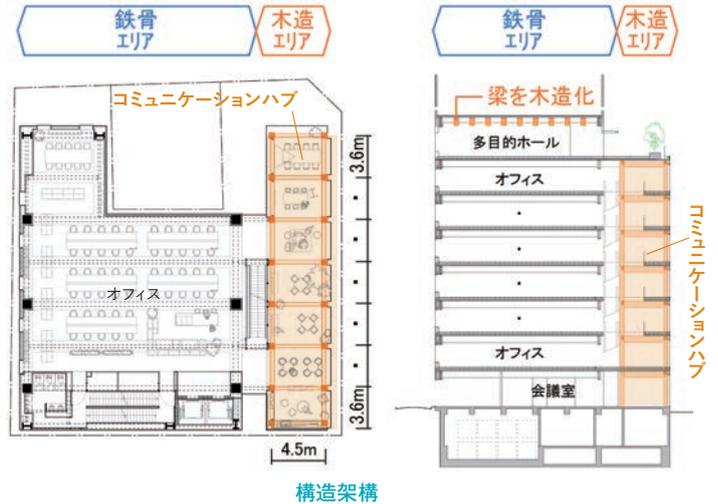
都内に純木質耐火集成材を使用した、鉄骨との平面混構造8階建ての企業本社ビルを建設するプロジェクト。

平面混構造である木造部分は純木質耐火集成材(国産スギ材に難燃薬剤を注入した燃え止まり層で被覆する純木質耐火集成材「FRウッド」)を主要構造部(柱・梁)に採用する計画。

耐火構造では、木と鉄骨の接合部において、鉄骨の高温が木に伝わらないよう、鉄骨部材の一定範囲を三時間耐火被覆とし、燃焼試験で性能を確認した仕様を採用している。また、設計は、仕様規定でなく性能設計を行い、耐火性能検証法により国土交通大臣の認定を受ける計画。これらの技術的取り組みは、日本建築学会やシンポジウムなどでの公表及び、完成後の内覧機会に様々なメディアに発表するなど広報活動を予定しており、設計・施工技術についての普及・啓発が期待できる。



コミュニケーションハブ断面パース



構造架構

木造化・木質化の  
取り組み  
内容

### 先端性・先進性

#### ●多層型木造の最適な構造架構の追求

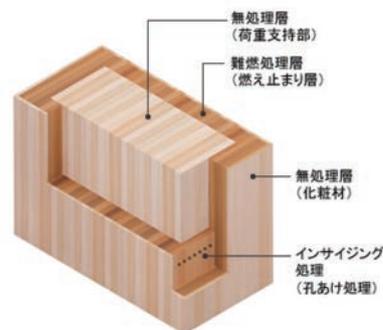
「コミュニケーションハブ」の木造エリアは4.5mスパンの門型架構を3.6mピッチで配列し、長期荷重のみを負担する。水平力はコンクリートスラブを介して鉄骨エリアに伝達することで、木造エリアはブレースなどがなく開放的な架構となるハイブリッド構造とする。水平力やクリーブ、耐火性能など、多くの木質構造起因の課題解決に向けた、最適な架構の可能性を追求している。

#### ●純木質耐火集材材「FRウッド」初の多層型建築物への採用

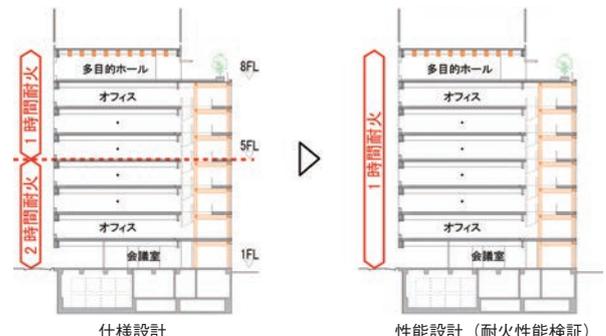
中規模耐火建築物である多層型建築物の木造で初めて「FRウッド」を活用する先導的プロジェクトである。木造と鉄骨造を組み合わせた合理的なハイブリッド構造とする。さらに「FRウッド」と取り合うスパンドレル部のディテール、干割れ部のメンテナンス方法の開発、耐久性への十分な配慮、生産性の向上など、当プロジェクトを通して様々な先導的課題に取り組む。

#### ●耐火性能検証による耐火被覆層の合理化

建築基準法で定められている必要耐火性能に対して、性能設計（耐火性能検証）を行うことで室用途に応じた適正な耐火仕様で計画する。開口部や内装制限を工夫することで等価火災時間を1時間以下とし、1時間耐火構造で統一することで耐火被覆を低減し、建設コストを合理化する。



FRウッドの構成



耐火性能検証による耐火性能適正化

プロジェクト  
データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は  
扉頁参照

建物名称：ジューテック本社ビル  
 主要用途：事務所  
 主要構造：木造化（鉄骨造一部木造）  
 防火地域等の区分：防火地域  
 耐火建築物等の要件：耐火建築物  
 敷地面積：739.56㎡  
 建築面積：575.09㎡  
 延べ面積：4,877.86㎡  
 軒 高：33.13m  
 最高の高さ：38.08m  
 階 数：地上8階、地下1階  
 構造用木材使用量：190㎡

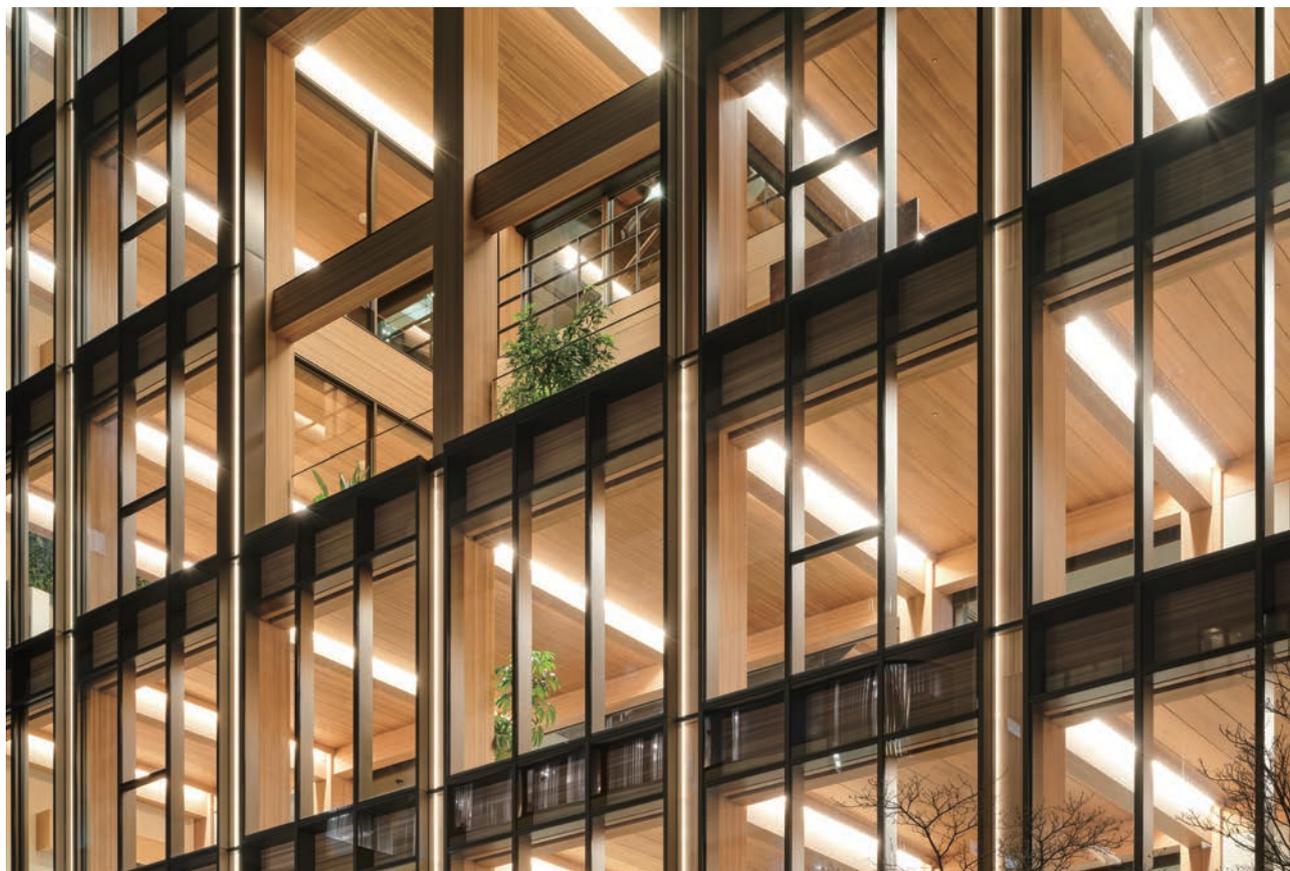
うちCLT・LVL等の使用量：なし

事業期間：令和3年度～4年度  
 補助対象事業費：509,130千円  
 補助限度額：254,550千円

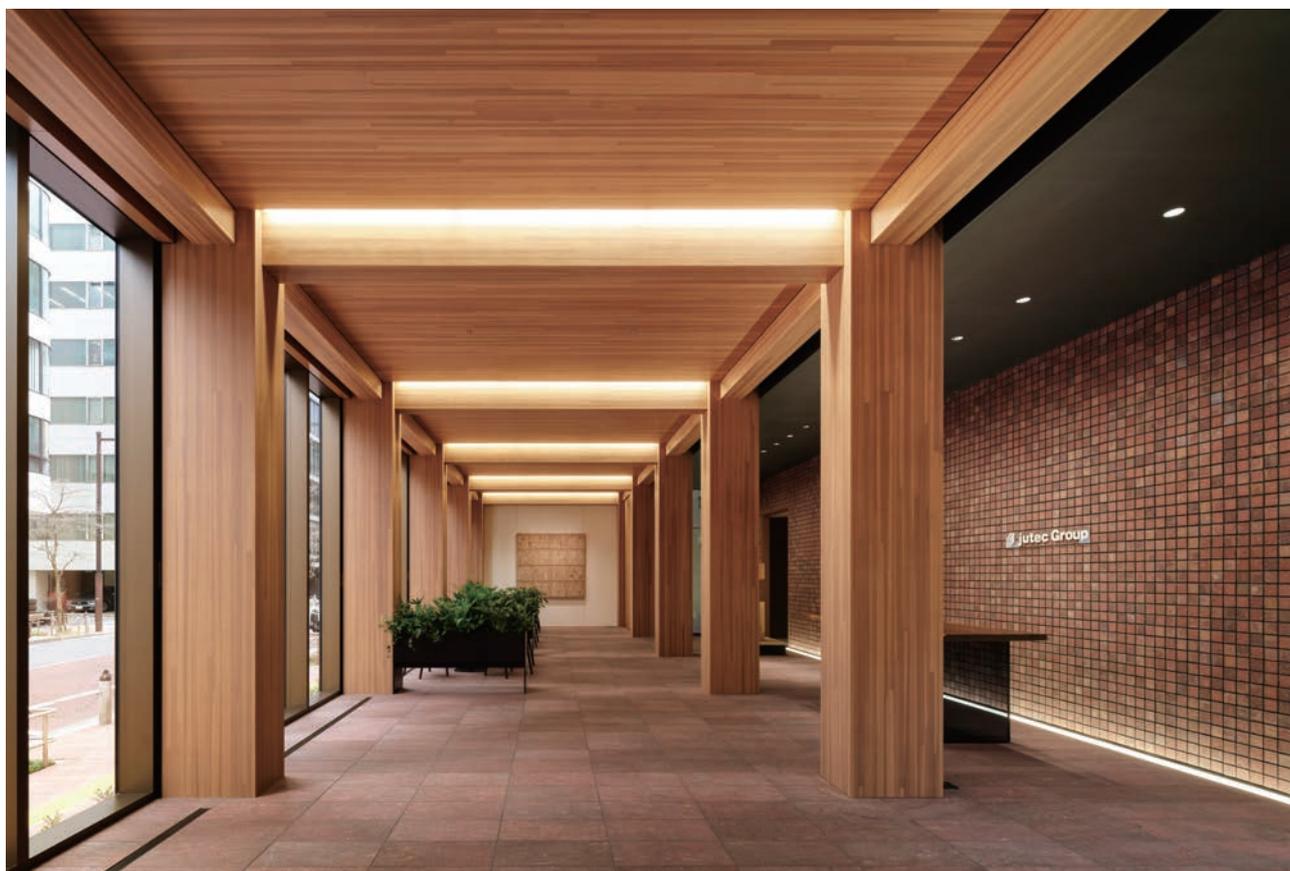


採択事例 84 ジューテック本社ビル 新築工事

竣工報告



ファサード窓まわりの外観



エントランスロビー



4・5階吹き抜けテラス



コミュニケーションハブの内観



8階大会議室前の屋上庭園



8階大会議室の内観